



50 枚、大学院用 50 枚の計 100 枚を調査票配布時に納品すること。

- (2) 請負者は、集計作業にあたり、データクリーニング(欠票状況の確認、無記入、誤記入、矛盾等の修正)を確実に行うこと。その他詳細については学園担当者の指示によること。
- (3) 請負者は、プライバシーの保護、データの機密性、調査の一貫性から、学園の承諾を得た場合を除き、再委託せず社内一括処理すること。
- (4) 請負者は、本調査の結果データ等については、本調査の目的以外には使用しないこと。また、本調査の結果データ等の使用、保存、処分等にあたっては秘密の保持に十分配慮すること。
- (5) 発送用封筒(角2封筒)及び返送用封筒(長3封筒もしくは角2封筒)は学園が請負者に提供する。発送用封筒への宛名の明示は請負者が行うこと。なお、その他、本調査に必要なとなる一切の費用は請負者の負担とすること(郵送料を除く)。
- (6) 発送にあたっては、信書に該当するため、日本郵便株式会社の郵便を利用すること。
- (7) 調査対象者のデータ等は、学園が請負者に提供すること。
- (8) 学生の調査票の返送先は、本学園(下記の返送先参照)とすること。請負者は調査票を本学園から受け取り、集計作業を行うこと。  
【返送先】  
千葉県美浜区若葉 2-11  
放送大学学務部教務課教務係
- (9) 2015 年度の有効回収率は 43.4%

#### 4. 集計作業・成果物について

請負者は授業評価結果データ集として以下(1)～(3)の内容に沿って集計作業を行い、CD-ROM で 1 組、その内容を以下(4)のように紙媒体で 2 部を納品すること。表・グラフ・自由記述については、表計算ソフト「Microsoft Excel」で作成すること。作成したデータは A4 用紙でそのまま印刷できるようにレイアウトすること。特に自由記述について、セル内に文字が正しく印刷時に入るよう枠を調整すること。

また、授業評価報告書として(5)のように CD-ROM にて 1 組、紙媒体で 1 部を納品すること。報告書は「Microsoft Word」で作成すること。

なお、表、グラフの種類(数)については 2015 年度の授業評価を参照し、学園担当者と相談のうえ決定すること。その他詳細については学園担当者の指示によること。

(1) 回収されたすべての調査票について、科目ごとに各設問項目等詳細をデータ化及び自由記述を正確に文字入力化すること。自由記述については、どの調査票による記述が分かるようにナンバリングし、全ての意見を記載すること。ただし、「意見なし」等の記述は省くこと。また、データは学部・大学院別とし、科目・設問ごとにシートを作成すること。

(2) 表、グラフについて

### 【学部】

#### I 単純集計表

- ①個票データ 62種類(科目ごと)
- ②全体一覧 3種類(平均評点、各科目と区分全体の平均との差、肯定的評価割合)

#### II 属性別(a:学生種別、b:性別・年齢・職業別)クロス集計表

- ①全体一覧 2種類
- ②メディア別 6種類(テレビ、ラジオ、オンライン)
- ③専任教員・客員教員別 4種類(専任、客員)

### 【大学院】

#### I 単純集計表

- ①個票データ 10種類(科目ごと)
- ②全体一覧 3種類(平均評点、各科目と区分全体の平均との差、肯定的評価割合)

#### II 属性別(a:学生種別、b:性別・年齢・職業別)クロス集計表

- ①全体一覧 2種類
- ②メディア別 6種類(テレビ、ラジオ、オンライン)
- ③専任教員・客員教員別 4種類(専任、客員)

※別途、各集計表のサンプルを提供するので、それに合わせて集計を行うこと。必要に応じて、集計する年度・科目種別等に合わせて様式等を整えること。

※オンライン科目については、学園がオンライン上でアンケート調査した結果をデータで提供するので、それをもとに集計作業等を行うこと。

※属性別クロス集計表については、全てのページにタイトル、表の種類名等(全体、コース名等)を入れること。

※CD-ROM中の個別ファイル名に科目コード、科目名等を入れること。

(3) PDFファイルについて

調査票裏面(自由記述含む)をPDFファイル化すること。科目ごとに調査票のナンバリング順に1つのファイルにまとめること。ファイル名に科目コード、科目名等を入れるこ

と。

(4) 結果データ集について

・紙媒体

2015 年度の授業評価結果データ集を参照し、同じ紙面構成となるようにすること。詳細は学園担当者と相談のうえ決定すること。

・電子媒体

2015 年度の授業評価結果データ集を参照し、同じファイル構成となるようにすること。詳細は学園担当者と相談のうえ決定すること。

(5) 授業評価報告書について

授業評価の内容をもとに各種分析を行い、報告書を作成すること。

分析方法、紙面構成等については、2015 年度の授業評価報告書を参考とし、学園担当者と相談のうえ決定すること。

5. 発送期日 2016 年 8 月 19 日(金)

6. 納品期限 2016 年 10 月 31 日(月)

ただし授業評価報告書に関する納品物については 2016 年 11 月 28 日(月)とする。

7. その他

(1)本調査の実施・集計の際には、仕様書に定める以外の事項については、学園担当者の指示に従うこと。

(2)成果物に関する権利及び所有権は、本学園に帰属するものとする。

(3)業務遂行にあたっては一般法令を遵守すること。

参考 2015年度実績

調査対象科目数	76科目 (学部58科目、大学院18科目)
調査対象者数	18,100人 (学部58科目×250人+大学院18科目×200人)
無作為に抽出した件数 ※1	16,236件
調査票を送付した人数 ※2	13,340人
調査票を回収した件数	7,049件
調査票の自由記述の入力文字数	860,538文字

※1 … 科目毎の上限値に満たない科目及び重複上限を整理し抽出した件数

※2 … 複数科目の被調査対象者になっている場合に個人毎にまとめた件数

2016年度

調査対象科目数	72科目 (学部62科目、大学院10科目)
調査票送付対象科目数 ※3	64科目(オンライン科目を除いた科目数) (学部56科目、大学院8科目)
調査票による対象者数	15,600人 (学部56科目×250人+大学院8科目×200人)

※3 … 調査票用紙を送付するための調査対象者上限。オンライン科目については学園がオンライン上でアンケート調査するため調査票用紙配付対象とはしない。集計・分析のため、オンライン科目にかかる結果データは別途提供する。